

1. 研究者になろうとしたきっかけ

小学1年生のときに、大好きな祖母が白血病で亡くなり、そんな病気がなかったらいいのにと思っただのがきっかけです。

2. 助成研究の内容紹介

がんの診断を受けると、自分の治療や体調のことばかりでなく、職場や家族への影響などさまざまな不安を抱える一方で、誰に相談すればよいのかわからないままに孤独感を経験することがあります。この研究は、新たな資源として注目されているソーシャルネットワークサービス(SNS)を活用した患者会が、がん患者さんの孤独感を減らす効果をもつかどうかを明らかにする研究です。

3. 2の将来に繋がる結果予想・目標

家庭や職場、病院とは別の、SNS上の患者会という、がん患者さんにとっての新たな居場所を示すことができると考えます。それは、患者さんの孤独感を減らし、少しでも生活が良くなるような支援の充実につながると確信しています。

4. 全国のRFL関係者に一言

本研究へのご理解とご支援をいただき、ありがとうございます。がん患者さんやご家族、関係者の皆さまにとって、有意義な研究をしていきたいと思えます。